

伝道弟子: 伝道弟子:福音(根本)適用(使徒 1:1,3,8)	70人: 伝道(祝福)適用	ミッションホーム: ミッションホーム:祈り(味わうこと)適用 使徒 1:14,2,42,3:1, II コリント 12:1-10)	いやしの働き: みことば(創造的能力)適用(ヘブル 4:12)
<p>*序論 人生の解答 ▲人生の解答 聖書は答えを得て感謝しなさいという。福音は根本なのに、福音適用ができずにいる。福音適用とはいったいどうなるべきなのか。 1.キリスト(使徒 1:1) ▲どのようにこれを私に適用をさせるのか 1)証書を捜し出しなさい。(聖書 66巻、歴史、現実) (1)聖書 66巻 聖書 66巻の中で捜し出したが、キリスト適用ができない時ごとにほろびて、キリストを回復する時ごとに生き返った。 (2)歴史—そして歴史を見た。どんな人物も出てきても、地球上を幸せにできなかった。 (3)現実—現実を詳しく見ると、深刻だった。さらに深みある現実を見ると、答えにならなかった。 ▲ここに確かにキリストが答えだ 2)他のもの、違ったこと、私のことではだめなことを発見しなさい。 3)刻印—ただ(使徒 1:1,3,8 ではなくては私を生かせない) 4)ヨハネ 19:30, イエスが「完了した」とされたというのに、私は一つも成されてない。3つのことを見つけなさい。 (1)私に重要なことは何か (2)私に最も至急なことは何か (3)私は誰なのか ▲しばしば「私」ということに基準を置いて我を張るから適用にならないのだ。私にキリストが適用されなければならぬ。 2.国(使徒 1:3) どんな国なのか 1)霊的な国 (1)世の中と世の中の支配者サタンと地獄の背景—それで福音伝えるのだ (2)救われたこと、私たちの背景と主の御使い—いものすごいのだ。 (3)サタンと悪霊の働きが全地球を覆ったことが見える。 2)世の中の国—ユダヤ、ローマ、時代がどうなるだろう。 3)ミッション—ここで 40 日間ミッションを与えられた。 ▲神様が私にくださったミッションを発見するその時間が基準だ。 3.聖霊(使徒 1:8) ▲方法を説明された。使徒 1:8 1)三つの祭り(逾越祭、五旬節、収穫祭)—五旬節聖霊—力 2)ただ—彼らが集まって切実に祈った。 3)方法—ここに対する私の方法を見つける日、答え—いやしは始まる。 *結論 ▲そうするならば、神様のみことばと現場と合わないのではなく、五旬節日の日になって、それでは行けばぴったり合うようになっている。(使徒 2:1-47, 使徒 4:1-21, 使徒 13:1-4, 使徒 19:1-7)今は本当に私を生かして、個人を生かして、教会を生かすことが起きなければならぬ。みなさんがこの答えを持って味わって伝えなければならぬ。</p>	<p>*序論 ▲伝道は、事実すべての祝福の根源だ。 1)創世記 3:15, 創世記 6:14, 出 3:18, イザヤ 7:14, マタイ 16:16 契約を握ったとき、どんなことが起きたのか 2)サタン(II コリント 4:4-5, ヨハネ 8:44, ヨハネ 16:11-14)→ キリスト ▲サタンはキリストがないすべての所で勝利することができる—災い時代、WCC、反キリスト、統合国家、最も問題がキリストがない牧師だ。 3)知る—キリストを知るということは事実、すべてのことが終わるのだ。 1.伝道のはじまり 1)信仰告白のはじまり (1)キリストがまさにイエス(福音発見、確認、信仰) (2)イエス・キリスト(告白) (3)イエスがキリスト(伝道) 2)使徒 1:1,3,8 キリスト、神の国、ただ聖霊 3)証人—証人の特徴 (1)答え—証人はアップダウン(up-down)がない。ここで証人になり始める。 (2)感謝—そして感謝が出てくる。 (3)平和—この時から平和を成し遂げるようになる。 2.伝道を理解すれば—天地が驚かされることになる。 ▲伝道は重要な3つがある。 1)創世記 13:48, 永遠のいのちに定められた人はみな信じた。その中に私がいられるのが伝道だ。 (1)使徒 1:14, その危機の中で 120 人を付けられた。 (2)使徒 2:9-11, 15 ヶ国の産業者が集まった。 (3)使徒 2:41, 3 千人の弟子を付けてくださった。 (4)使徒 6:7, 迫害する者、祭司まで付けてくださった。 (5)使徒 8:26-40 主の使いがバビロンに、主の聖霊がバビロンにエチオピアの宦官を付けられた。 (6)使徒 9:10, 15 じっとしているアナニヤに「アナニヤよ…」時代的な人物パウロを付けられた。 ▲この中に入るのが伝道だ。こういう人を初代教会のマルコの屋上の間では 1 人 30 人見つけたのだ。これが初代教会すべてのタラップ、すべての家で起きた伝道だ。 2)使徒 16:14-15, 地教会—この(上の)1番のことが分かって聞いた人が集まれば—地域が生き返る。これを地教会と言う。 3)国— 15 ヶ国の人が来て行った。国が見える。これを宣教、ローマ 16 章の人と言う。 ▲この中にすべての答えがあって、すべてのはじまりがここにある。 3.伝道者にだけ与えられる祝福 1)3,000 弟子 2)3 企業—文化、宣教、社会を生かせる企業 3)3 弟子—隠れて、いのちをかけたローマ 16 章の秘密決死隊、レムナントを生かす重要な伝道者、この時から経済祝福がくるから、文化も生かして、RUTC を作るホーリーメイソン(Holy Mason) *結論—伝道者に特別に来る約束 1)マタイ 6:32-33, マタイ 10:40-42, マタイ 24:14 2)マルコ 10:29-30, 100 倍の祝福と永遠のいのち 3)使徒 1:8, 証人になる(使徒 2:1, 使徒 3:1)</p>	<p>*序論—祈りを知らなければ3つの問題がくる。 ▲創世記 1:27, 神様が人間をご自分のかたちとして創造されたので、祈りを知らなければ— 1)中毒—必ずどこかに中毒になるか 2)執着—そうでなければ、どこかに執着するようになっている。 3)無気力、私の考え、世論(雰囲気)—これは何の答えもない。 ▲RUTC でレムナントに一番しよとするのが、祈りに対しての霊性訓練だ。私たちがキリストを知って、霊的世界を分かったら、多くのことを勝ち取るようになっている。 ▲祈りに対して何から教えるべきなのか。生活の世界、異なる力、祈りに対する三次元の世界がある。 1.生活の世界 1)定刻祈りとは何か (1)幸せ(ビジョン)—最も重要な幸せな時間を持ってビジョンを味わう時間が一日に一度は必ずなければならぬ。 (2)力—この時間—神様が与えられる力を得るのが基準だ。 (3)みことば—みことばをがさず—必ず確認しなさい(詩 53:17,3) 2)24 時—現場 ▲24 時は、簡単に話せばすべての現場、問題、仕事、学業の中で味わうことだ。 3)25 時—聖霊の満ちし(II ペテロ 3:8) ▲25 時は私を越えたのだ。これを聖霊の満ちしという。この時は必ず II ペテロ 3:8 節の答えがくる。 2.異なる力 1)使徒 14:16-17, 他の助け主を送って、あなたがたの中に、あなたがたとともに、永遠に、ヨハネ 20:22 聖霊を受けなさい、使徒 1:8 ただ聖霊があるあなたがたの上に臨めば、ヨハネ 22:27 人が教えなかったが習うようになる。 2)御座—御使い、私に持った権威—サタンの権威 3)たがは、世の中に勝つ方法、唯一性は答え、サミットは証人だ。 3.三次元の世界 ▲1-2 番が成り立てば、たしかに 3 次元の世界がくる。 1)使徒 7:54-60, 天の門が開くのを見て、死ぬのに全く恐ろしくない。死がくる前から恐ろしくなかった。ステパノが死ぬときに聖霊に満たされたのではなく、すでに聖霊に満たされていた。 2)使徒 11:19-30, 大きな患難が起きた。ところで、30 節まで見れば、その時に最高の答えを… 3)使徒 13:1-4, キャンプ出て行く人は、いつでもこの祝福を味わわなければならぬ。パウロが初めて宣教地に出て行ったとき 4)使徒 19:1-7, パウロがローマに行く前—ツラバ運動 5)II コリント 12:1-10, 第三の天 *結論 ▲このように、じわじわ祈りに対する答えを持っていれば、すべてのことを解決することができる。このときから来る答えは違う。 1)自然に出来る答えがある。 2)行く所ごとに見える答え、その程度ではない。 3)行く所ごとに変化させる驚くことが起きる。</p>	<p>*序論—いやしと関係して、みことば適用を見よう。 1)今、未信者は他のものが刻印されている。 2)信徒も世の中の体質でたくさん刻印されている。 3)私が習ったこと、見たこと、聞いたことで刻印されている。 ▲聖書を一度詳しく見なさい。福音の刻印はキリスト、御国、聖霊—祈りは実際、私の生活の中で、私の力でなく異なる力、そして第 3 の世界。この答えを持ってみことばを見たら、すばらしいことになる。 1.みことば黙想—いやし 1)詩 1:1-6, みことばを持って祈りを分かるならば、このような詩 1:1-6)ことが行われる。 2)詩 5:3, 夜明けにみことばを黙想した。詩 17:3 夜にみことばを黙想した。詩 23:1 朝にみことばを黙想したが 70 個が越える詩篇が出てきた。 3)詩 103:20-22, ダビデがした告白だ。神様のみことば行く所ごとに力ある御使いが手伝う。神様のみこころが成される所には、天の軍隊が動員される。神様が自ら、臨在される時は、その所に天の軍勢、御使いが動員される。 2.みことば暗唱—いやし 1)30 聖句の奇跡—私は 30 ヶ所の聖書箇所を暗唱した。患者をいやすにはみことば黙想、みことば暗唱がとても重要だ。 2)詩篇の記録(賛美)—ダビデは直接、自分が詩篇の記録を賛美とともにした。ここで時代的な人物が出てきたのだ。 3)初代教会の礼拝方法—パウロが送った手紙の重要な部分を読んであげれば、それをその場でみな暗唱をしたのだ。 3.みことば記録—いやし ▲さらに重要なのが、みことばの記録だ。いやしの第一順位だ。みことば全文書き写し、聖書の全文書き写しがとても重要なのだ。 1)みことば全文書き写し—みことば、聖書を全文書き写しをしてみなさい。不思議なことが行われる。 2)書簡の全文書き写し—なぜパウロが世界を動かしたのか。書簡を記録した。 3)ルター—翻訳—ルターが聖書を翻訳するとき、どんなことが行われたのか。まず、中ではサタンが砕かれてしまった。外側では奇跡が起こった。 ▲私たちは聖書を一般の宗教書籍のように思っている。違う。神様のみことばは生きていて力がある。 *結論 ▲それで、いやしをする方たちは「答え」を持って伝道するのが一番はいい。 1)肉体的いやし(食べ物、運動)—医師の話よく聞いて、食べ物、運動だけよくて、肉体的いやしはうまくいく。 2)精神的いやし(医師) 黙想/暗唱/書き出し—精神のいやしは必ず医師の話を開かなければならぬ。それとともに鍵は黙想、暗唱、全文書き写し、このようにしなければならぬ。 3)霊的いやし—これは長い時間続いてきたことだ。落胆してはならない。長く続いてきたこと—これは、それだけ答えが大きいのだ。霊的な深いサミットに行くのだ。 ▲この答えだけ与えれば、答えを握って継続すればいい。みなさん個人、教会に大きいいやしの働きが起きるようになるように祈ります。</p>